



難値難遇の勝縁

住職 丸子孝法

平等寺だより

発行

☎633-0001
 桜井市三輪38
 三輪山平等寺
 TEL/FAX
 0744-42-6033
<http://www.byodoji.com/>

平成28年7月3日、大本山永平寺副監院を退任し、4年ぶりに自坊平等寺に帰山致しました。

顧みますと、平成24年6月28日禪師さまの御慈慮を賜り監院老師の御推輓を頂き副監院を拝命し御開山道元禪師さまの御膝下で4年間安居できましたことは、まことに難値難遇の勝縁でありました。改めて感謝申しあげるものであります。

在任中、役寮の諸老師、大衆の諸兄弟、従業員、門前や福井の皆さまからあたたかなご法愛ご厚情を賜りましたこと終世忘れ得ぬ想い出となりました。

特に自坊平等寺の法務を一身につとめてくれた副住職、寺族、護持会檀信徒の皆さまに心から感謝申し上げます。

7月3日退任の日は、本山法堂において禪師さま御導師のもと役寮大衆15名の御随喜を頂き、平等寺先代方丈 明庵秋正大和尚さまの五十回忌の尊宿報恩法要をおつとめ頂きました。

不思議にもご先祖さまの故地三輪の地に縁を結び尊い出家の法縁を授けてくださいましたのは、すべて先代方丈さまのお導きでございました。

奈良に帰りましてからは講演や説教の法縁を頂きつとめ励んでおりますが、時折裏の畑仕事に精を出しております。4年間手つかずの畑はよもぎの根がいつぱいです。根っ子と土を分ける作業が大変です。何事も土台の部分が大切で、野菜をつくるよりも土をつくるのが大切です。9月はじめに種まきをした大和真菜が60センチ程に大きくなりました。人生も説法も野菜づくりと同じだなーとつくづく感じ入ることでございます。

山内一同、愛山護法の道念をもって仏法の興隆、世の平和実現のために微力ながら努力精進してまいる所存であります。

年頭にあたり、皆さまのご清福とご安寧をご祈念申しあげ、ご挨拶と致します。



大本山永平寺参拝

芹井 伸夫

私は、三輪山平等寺の地元三輪に住んで68年になります。その頃のお寺の名前は翠松寺でした。先代住職の秋正和尚さんの時に私の母が檀家となりました。お寺の行事がある時には、よく母をお寺まで送って行ききました。

そして、何年か過ぎた時に先代の秋正住職さんが、若いお坊さんを連れてこられ、「これから私の後を継いでくれる、丸子孝法です。」と紹介し一緒に参りして下さいました。私の母もこれでお寺も檀家も安心だと、とても喜んでいました。その後、丸子住職が頑張つて下さり、本堂を再興されました。しかしその時に母は大阪の病院に入院してしまいました。昭和57年の春に母が大阪の病院から桜井の病院に転院することになりました。妻の運転する車で帰ってくる途中三輪まで来ると、母が妻に平等寺へ連れて行ってほしいと言うのでお寺まで行きました。

お寺では本堂の建築中で、母は立ち上がった柱に抱き

ついて「わあ大きい立派な柱やなあ」と喜んでいたようでした。その後少し家により、その足で桜井の済生会病院に入院したのです。その年の秋10月23日に母は64歳で浄土へと旅立ちました。母が亡くなってからは妻とお寺に行くことが多くなってきました。

平成11年5月頃に前会長の岡本弘様が私の所に来られて、平等寺の護持会を作るから参加してほしいと言つてこられました。それは良いことだと思ひ「私も是非参加させて下さい」と、8月1日に役員にならせて頂き平等寺護持会をスタートしました。そして今年で、18年になります。今日まで丸子住職、そして佐藤会長または役員の方々にはいろいろお世話になり護持会の会計をさせて頂いております。

またその間には、丸子住職が大本山永平寺の副監院となられました。永平寺での就任式に会長はじめ護持会で丸子住職をバス2台で送って行きました。私にとつては初めての事でとても良い体験をさせて頂きました。平成27年には、丸子住職

が二祖峨山禅師六百五十回大遠忌の焼香師を勤められる事となり、6月1日〜2日に住職と副住職、寺族、そして護持会役員と梅花講の方々、大本山總持寺に参拝したのです。私には初めて行く事の出来たお寺で、方丈様の声と共に法要が始まりとても立派で厳かな法要を見ることができました。そして、僧侶の案内で總持寺のいろいろな所を見せて頂き、大変貴重な体験をさせて頂きました。

そして、昨年には方丈様も四年間の永平寺での副監院のお勤めも終えられました。その時にも護持会の皆様とお迎えに行く事が出来ました。バス2台で永平寺まで行き方丈様の最後のお勤めを見させて頂く事が出来ました。

私は今日まで素晴らしい体験やいろいろな物を見せて頂く事ができとても良かったです。今後も平等寺護持会と会員の方々と共に三輪山平等寺の今後の発展と会員の皆様の健康と御多幸をお祈りして私の今日までのお話とします。



退任式に参加して

河内 大典

40歳の息子と、大学生、小学3年の孫を連れて、永平寺参拝旅行に参加しました。本当に感激し素晴らしい思い出ができました。建物の素晴らしさ、修行僧の厳しい作法と修行の様子、大勢の修行僧が読経する荘厳なる法要、また、丸子老師の分かりやすい法話。禅师さま、丸子老師を中心に参加者全員で撮影した記念写真も嬉しく頂きました。また写真撮影が終わった時、禅师さまから丸子老師に、お言葉を頂きました。永平寺副監院在職中の労を讃えるときともに、今後の丸子老師に「大いに活躍を期待してる」でありました。その優しいお言葉には、私達、感銘し誇りと嬉しさを感じました。

また、ホテルでのお祝い会では、丸子老師から心のコもった達磨大師の色紙を頂き、息子や孫も大変喜んでいました。もともと、私と丸子老師とは、古いお付き合いで、昭和40年に工業高校を卒業して、東レ(株)滋賀工場に全

全国各地から300名が入社した同期です。丸子老師は、縁あって40年の秋に東レ(株)を辞められ今のお寺に入り、修行(托鉢と不屈な努力)を重ねられて現在に至っています。永平寺在職中も偉そぶらない副監院で、地元や門前のお店で大人気で、本当にいつも修行中の誇らしい老師です。

丸子老師は、素晴らしい奥様、子供さん、若奥様にも恵まれてます。平等寺副住職、久松寺住職をはじめ皆様に支えられて、ますます活躍され私たちを導いて下さいます。ありがとうございます。

聴覚障害者との関わり

岡本 康宏

私は、平等寺護持会で役員をさせて頂いております岡本と申します。会員の皆様、役員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今回は、私が今関わっている「手話及び聴覚障害者との関わり」について皆様にご紹介させて頂きたいと思っております。会社は、障害者雇用促進法により一定の割合で聴覚障害

者(ろう者)を雇用する事となっており、わが社にもろう者の社員がいます。私は、機会があれば彼と会話がしたいと思っていた所、2013年に会社の研修で「手話入門講座 関西コース」が出来たのを機に手話を習い始めました。手話とは聴覚障害者(ろう者)とのコミュニケーション手段の1つで、「手指動作及び顔の向き・表情」などを用いて会話する事を言います。

習い始めて1年が過ぎた頃、別フロアに勤務するろう者の社員が研修講師に来てくれました。その彼が聴覚障害者デニス(デフテニス)の選手だったので、話が進み、二人でダブルスの試合に出る事になりました。

当日、開会式での挨拶から競技進行の注意など、手話で表現されるのを緊張しながら見ていると、突然司会者が「今日は健聴者(聞こえる人)の岡本さんが試合に参加してくれました。一言ご挨拶お願いします。」といきなり振られ、「皆さんこんにちは。私の名前は岡本です。今、手話

を勉強中です。今日は皆さんとデニスの試合が出来てうれしいです。皆さん最後まで一緒に頑張りましょう」と、必死の思いで手話表現をしました。挨拶し終えた時、みんなから大きな拍手をもらい、自



分の手話がろう者の人達に通じた事が非常にうれしく思えた瞬間でした。(その時はそう思っていました。)

デフテニスの試合は基本的に「聞こえない事」以外は全て健聴者(聞こえる人)と同

じです。ポイントコールや「ドンマイ」などを手話で会話しながらゲームが進んでいく中で、普段の試合とは違う違和感が出てきます。それは、耳が聞こえないので、「声かけ」による一瞬のポジションチェンジが出来ないなど、見た目以上にハンデがあるという事でした。それ以降、デフテニスを通じて、ろう者との交流機会が増えたため手話も少しずつ上達しているかなあ・・と思っています。

しかし、手話がある程度通じるからといって、彼らが本当に困っている事や考え方で理解出来ている事にはならない、私達目線で考えている以上に色々な障害があるハズ・・という事を感じ始めます。

そこで、手話の先生に聞いた本を読んだり調べたりして、聴覚障害者の立場になつて考える”ようにしてみると、私が思い及ばない所で彼らは苦勞している事を知ります。例えば、

※歩いていて、後ろから自転車で「どけて！」の音が聞こえず追い抜きざまに罵られる。

※電車に乗っていて急停止するが社内アナウンスが聞こえないため原因が分からない。 ※病院受付での呼び出しや案内が聞こえないため、いないと思われ飛ばされてしまう。 というようなことです。

聴覚障害者であるが故の問題点は、「見た目が普通の人に見える」事です。なので、その問題が起こっても周りが気が付かない事なのです。相手の立場に立つてもの考え・・という事の大切さは、今回手話を勉強した事で、大きな「気づき」となりました。

他人のために行動を起こす事はなかなか難しく、見て見ぬふりをしてしまいがちですが、まず、自分が出来る範囲の小さな事から行動する事によって、お釈迦様の教えに少しでも近づけるのかなと思っております。また今後も、自分が手話を覚え使う事により、そういう場面に遭遇した時にコミュニケーションの手助けが出来ればと思っております。

それでは護持会会員の皆様、今年もよろしく願います。(公掌)



梅花の心

福本 衣代

「こんな心をつ打つ歌があるのだろうか」と涙が溢れて止まりませんでした。それは、父が亡くなった時に方丈様がお唱え下さいました梅花流詠讃歌の追弔御和讃でした。

それから十数年経って義母が亡くなり、方丈様から入会のお誘いをいただき、あんなにも心に響く詠讃歌を一曲でもいいから教えてもらいたいと思ひ、義母の形見のお道具片手にお仲間に入れていただきました。最初は、さっぱり分からず鈴鉦を用いて唱えるとい

う事が、こんなにも難しいものかと落ち込みました。月一回のお稽古に参加させていただくうちに、一曲一曲の素晴らしさに触れ、苦しい時、悲しい時に口ずさみ心が安らかになりました。お寺の皆様、梅花講員の皆様に優しく親切に教えていただいたお陰と感謝しております。

毎年開催される県大会での80、90歳の先輩方の素晴らしいお唱えに感動し、励みにもなっております。これからは久松寺住職の道仁先生の御指導のもとに「正しい信仰に生き、仲良い生活をし、明るい世の中をつくる」を目標に精進出来たらと思っております。

感謝申しあげます

丸子 孝仁

師匠が本山で副監院を務めた4年間、護持会の佐藤会長はじめ役員の皆様方、梅花講・檀信徒の皆様方に支えられ、私たち山内一同は何とか平等寺を護持することができました。至らぬ点も多々あり、ご迷惑をおかけいたしました。平等寺関係者の皆様には感謝しかありません。ありがとうございます。

ございました。

合掌

7月第二日曜日「作務の日」



年間行事予定

【一月】一〜三日 修正会

九日 正午 昼食

十三時 初護摩会

【二月】三日 十時 星祭会

十五日 七時 涅槃会

【三月】二十日 十四時 彼岸会

【四月】二日 十時 大護摩会

花祭り「ちごおねり」募集

【七月】上旬 本山研修会

九日 作務の日

【八月】一日 九時半 最勝会

二十三日 十三時 地藏会

【九月】二十三日 十四時 彼岸会

【十月】下旬 梅花大会

【十二月】一〜八日 朝六時

撰心会並びに成道会

上旬 歳末托鉢行

二十一日 十四時 終護摩会

三十一日 除夜の鐘

月間行事予定

一・十五日 六時 祝祷朝課

四〜二十九日 月仏参

十八日 十三時 梅花講

二十四日 十四時 水子供養

二十八日 十四時 護摩会

(一・四・十二月は右記参照)

日曜日 六時半 坐禅会

みー子が行く⑪

住職は朝課の後にみー子とフワワに語りかける。みー子と

は耳がほとんど聞こえない。それでもジッと細い目で住職を見つめて話を聞いている。ネットのみー子やフワワの画像を見つけた。みー子とフワワにはファンが多い。先日、西の坂道に鹿が14匹集まっていた。夜には猿や猪、狸やアライグマも歩いている。みんな共に生きている。

テレホン法話

曹洞宗布教師の「心の法話」が電話で聞けます。近畿内0120508740

ご案内

お寺のホームページがあります。ぜひ、ご覧ください。
<http://www.byodoji.com/>

三輪山裏

今、世界中の人が禅に関心を寄せています。左は坐禅のアプリです。坐禅の解説もあります。

孝仁合掌



Androidはこちら

iPhoneはこちら